

# スコア映画サロンのお知らせ vol.278



◆日時：2023年10月22日(日) 14:00~18:00

◆会場：名古屋国鉄会館  
 (わからない方は10分前にスコアレに集合またはお問い合わせください)  
 ※映画サロンは禁酒禁煙です。

◆参加費：1000円(初参加の方は無料です)

## 課題映画

▷ **BAD LANDS バッド・ランズ**  
 (9/29よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)

▷ **月**  
 (10/13より伏見ミリオン座ほかにて公開)

## サロンメモ

映画鑑賞にはタイミングも重要だとつくづく思った。普段から多くの日本映画を見ている。大半は攻めてる映画、とんがってる映画、くそがつくほどリアルな現実を描いた映画だ。その日もまさに“今”の日本映画を見た。その2時間後に見たのが「こんにちは、母さん」だった。ホッとした。安心した。普段今の日本映画の荒波に揉まれていなければ、こんな安定した気分になれたかどうか。ここがおかしい、あそこがヘンだと多くの文句をつけていたかもしれない。でも映画というのは心をざわつかせるだけでなく、ホッとさせるのも大きな役割だ。そんな事を思い起こさせてくれ、加えて1960年代から第一線で活躍する山田洋次と吉永小百合への大なるリスペクトも含めて、とてもいい時間を過ごす事ができた。

実はサロンでも散々な評価を覚悟していたが、想定の高か上を行く皆さんの高い評価だった。年齢層が高いとはいえ、普段から今の映画や音楽や美術、文学等に触れている人たちばかりだ。リタイア層の懐古趣味とは違う。今を知るからこそ安定した安心感が心に沁み込んだ人が多かったのだろう。

さて「福田村事件」。4年前の2019年12月にこの作品の最重要発起人氏から「福田村事件って知ってます？」と大久保での食事の席で聞かれたのが始まりだった。まだ森達也監督と合体する前の話。この事件を映画化？凄いい企画だ、でも実現するのか。そこから暫くしてクラウドファンディングが開始され、時は推移。完成、公開、そして大ヒット。アプローチの仕方に違いはあれど、作り手、送り手たちの強い熱量があったがための完成とヒットに違いない。この映画がサロンでも大きく評価されたのもまた嬉しい事だった。「こんにちは、母さん」と「福田村事件」。どちらも2023年9月1日公開の日本映画。どちらも心に残る映画。(小西)

初めて参加される方は参加費無料！10分前にシネマスコアレまでお越しください。

9/24(日)	こんにちは、母さん	福田村事件	春に散る	ハービー	クライムス・オブ・ザ・フューチャー	アステロイド・シティ	スイート・マイホーム	ミステリと言う勿れ
サロン参加者								
田中 健一	3	5	4					
高橋 広河	3	4	3			3	4	4
岡村 昌俊	3	4		4				
入江 弘幸	5	5	4	4		4		5
三田 正継	5	5	4	4	3	4	3	4
加藤 賢二	4	4						
白石 麻由子	4	5	4					3
近藤 生久子	5	5						
山本 正明	3	5	4	3	2	3		3
牧野 鐘徳	3	5	4	5	4	3	2	3
横井 清	5	4	4	3	2	3		
斎藤 文彦	5	5						
榊原 隆裕	4	5	4					
加藤 千穂子	3	5						
天野 雄喜	4	4	4	4	3	3	4	
井上 章	4	5	4	3		3	4	
小西 孝直 (スコアレサロン代表)	5	5	4		2	2	2	
坪井 篤史 (スコアレ支配人)	4	4	5	4	3	3	4	
木全 純治 (スコアレ代表)	4	5	5				3	